

又 市議会だより

ぬまづ

令和7年2月15日
第247号



市議会本会議場で行われた令和7年(第27回)二十歳の議会
※関連記事はP.12

ピックアップ議会

- 工事請負契約の締結
第四小学校・大岡中学校校舎の建て替えを行います！ …………… P.2

市政について問う！

- 16人の議員が一般質問を行いました …………… P.4~8

委員会レポート

- 委員会の行政視察報告 …………… P.10~11

11月定例会において、第四小学校及び大岡中学校校舎の建て替えに係る議案が上程され、原案のとおり議決しました。

ここでは、その内容についてお知らせします。

第四小学校 校舎建築主体工事

この工事は、昭和40年度に建築されてから59年が経過している、現在の南西校舎を建て替えるものです。

施設の概要等

- 建設位置 現在のグラウンド東側
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建
- 完成期限 令和8年2月
- 各階の内容
 - ・1階 特別支援学級教室、通級指導教室、放課後児童クラブ、昇降口ほか
 - ・2、3階 普通教室、多目的室、児童用更衣室ほか
 - ・その他 屋外テラス

※新グラウンドの整備について
新校舎竣工後に現南西校舎を解体するとともに、グラウンド整備等の外構工事を実施



▲南西側から見た新校舎の完成予想図

文教産業委員会での主な質疑

問 児童数が減少傾向にあることを踏まえ、適切な教室の整備数となっているか。

答 第四小学校は現在、各学年が2～3学級となっており、今後も3学級以内で推移すると見込まれることから、適切な規模である。

問 新校舎における、エアコンの設置予定場所は。

答 普通教室のほか、多目的室などの児童や教職員が活動に使用する教室にはエアコンを整備する予定である。

大岡中学校 校舎建築主体工事・校舎電気設備工事

この工事は、昭和34年度に建築されてから65年が経過している、現在の南校舎を建て替えるものです。併せて行われる電気設備工事は、新校舎建築に当たって必要となるキュービクル（受変電設備）の新設等を行うものです。

施設の概要等



▲南東側から見た新校舎の完成予想図

- 建設位置 現在のテニスコートの位置
- 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造4階建
- 完成期限 令和8年12月
- 各階の内容
 - ・1階 職員室、校長室、事務室、保健室、個別指導室、図書室、昇降口ほか
 - ・2階 普通教室、多目的室、特別支援学級教室ほか
 - ・3、4階 普通教室、多目的室ほか
 - ・その他 大岡中ホール（大階段）

文教産業委員会での主な質疑

問 新校舎に整備する大岡中ホールの概要は。
答 このホールは、1階昇降口正面から2階へ上がる大階段を活用した多目的スペースであり、学習発表や学年集会での活用

を想定し、1学年程度の生徒が集合できる広さと、スクリーンに映像を投影する機能を備えるなど、新校舎の特色あるスペースとなっている。

工事請負契約の締結
第四小学校・大岡中学校校舎の建て替えを行います！



11 月定例会の主な内容

第7回（11月）定例会は、11月22日から12月13日までの22日間にわたり開催しました。この定例会では、令和6年度補正予算議案等25件と議員提出議案2件を審議し、いずれも原案のとおり議決しました。

また、16人の議員によって一般質問が行われ、活発な議論が交わされました。（P.4～8）この定例会の主な内容を紹介します。

主な議案一覧

	議案名	内容	議決結果
予算	議第84号 令和6年度沼津市一般会計補正予算（第7回）	<p>■29億7,147万3,000円を追加し、予算総額は947億9,454万4,000円となります</p> <p>追加するものは、財政調整基金積立金17億2,855万5,000円、自立支援介護・訓練等給付費4億9,900万円が主なもので、財源としては、それぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てるものです。このほか、繰越明許費として農林施設災害復旧事業2,012万9,000円を追加するほか、債務負担行為として斎場エレベーター改修工事費及び大平こども園給食等配送業務委託費を追加し、香陵公園周辺整備PFI事業費の限度額を変更するものです。</p>	可決
契約	議第88号 工事請負契約の締結（沼津市立第四小学校校舎建築主体工事）	<p>■沼津市立第四小学校校舎建築主体工事を行います</p> <p>制限付き一般競争入札により9億2,400万円で大藤建設株式会社 代表取締役 町田直繁と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、沼津市立第四小学校校舎建築主体工事を行うもので、完成期限は令和8年2月21日です。</p>	可決
	議第89号 工事請負契約の締結（沼津市立大岡中学校校舎建築主体工事）	<p>■沼津市立大岡中学校校舎建築主体工事を行います</p> <p>制限付き一般競争入札により12億9,800万円で大岡建設工業株式会社 代表取締役 内野聡と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、沼津市立大岡中学校校舎建築主体工事を行うもので、完成期限は令和8年12月3日です。</p>	可決
	議第90号 工事請負契約の締結（沼津市立大岡中学校校舎電気設備工事）	<p>■沼津市立大岡中学校校舎電気設備工事を行います</p> <p>制限付き一般競争入札により1億8,111万5,000円で小林電気工業株式会社 代表取締役 小林克也と工事請負契約を締結するものです。工事の内容としては、沼津市立大岡中学校校舎電気設備工事を行うもので、完成期限は令和8年12月3日です。</p>	可決
人事	認第28号、認第29号 人権擁護委員推薦の同意	令和7年3月31日をもって任期満了となる南本郷町在住の野方千賀子氏、戸田在住の鈴木敏文氏を再任の委員として推薦するものです。	同意

☆このほかの議案については、沼津市議会のホームページを御覧ください。

沼津市議会

検索



会派別 賛否が分かれた議案一覧

○ = 賛成 × = 反対 ※ () 内は所属議員数

	議案名	議決結果	志	沼	市	公	沼	日	未	無
			政	津	民	明	津	本	来	所
			会	志	フ	党	市	共	の	属
			(8)	帥	ラ	(3)	議	産	風	(2)
			(6)	会	ブ	(2)	団	党	(2)	(2)
条	議第78号 沼津市個人番号の利用に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	×	×	○	
例	議第81号 沼津市病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	
発議	発議第14号 沼津市議会ハラスメント防止条例の制定	可決	○	○	○	○	○	×	○	

一般質問

第七回（十一月）定例会では十六人の議員が市政について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
渡邊 博夫	文化芸術の活用、市芸術祭、市民文化センター、特殊詐欺等	4
小澤 隆	事業構築と事業検証	4
井原三千雄	中心市街地、にぎわいコンベンション、回遊性	5
長田 吉信	子宮頸がん予防の取組、学校教育のICT活用	5
小泉 宣子	浸水被害対策、スマート農業導入支援、女性の就労支援	5
尾藤 正弘	体育館空調設備の設置、香貫山の整備、物価高対策	5
村木 豊	水害時の土のう利用促進、沼津市防災アプリの活用	6
大川敬太郎	山間部の通信環境整備、建設発生土の処分場確保	6
大草 満	災害時における迅速避難、障害者雇用促進法改正	6
深田 昇	商業施設等への投票所設置	6
渡部一二実	目標耐震化率必達取組強化、フェーズフリーな防災促進	7
川口 慶	学校給食、書店業支援、シビックプライドの醸成	7
高橋 秀子	電子証明書の更新手続、生活弱者に対する支援	7
山下富美子	夜間救急医療センター、2.56 億円使途不明金、刑事告訴	7
江本 浩二	市内の一部地域で発生した投票所入場券未達問題	8
平野 謙	市営住宅の活用	8

※議員名の下にQRを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

※文面中の波線（~~~~）については、P.8の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



本市主要事業の事業構築・検証の方法は

問 本市の主要事業について、①事業構築の方法は。②事業実施後の検証方法は。③事業構築・検証に関する職員研修の実施状況は。

答 政策推進部長／①本市の約七百の事務事業のうち、七十事業を第五回沼津市総合計画に基づくまちづくりを推進していく上での主要事業として位置づけている。この主要事業の構築に当たっては、本市の現状分析や課題整理、市民ニーズを踏まえた中で、総合計画の基本理念や目指すべき本市の将来都市像などの実現に向けた施策を検討し、事業構築を

行っている。②主要事業の検証については、プロセスマネジメントにより、事業の目的、事業費、評価指標その他達成に向けた手順を明らかにし、政策企画課で全ての事業の進捗管理及び年度ごとの目標の達成状況等を確認するとともに、特に重要な事業は、市長の下、確認・協議を行っている。③本市では、現状分析、政策形成と問題解決、事業スクラップなどを習得する職員研修を実施しており、これらの研修は、事業構築・検証に関するスキルの向上に有効であると考えている。

小澤 隆



文化芸術を活用したまちづくりの取組は

問 文化芸術を活用したまちづくりについて、①歴史ある沼津市芸術祭を継続していくための取組は。②市民文化センターを拠点として活用する考えは。

答 教育次長／①沼津市芸術祭を継続させていくためには、担い手の育成と組織の在り方が重要であると認識している。今後は、持続可能な組織体制の構築に向けて、これまで沼津市芸術祭を支えてきた皆様と連携し、若手指導者の育成や新しい分野で活動する人たちが活躍する場を提供していきたい。②令和六年度は、

芸術祭の実施団体等との意見交換や静岡県官民連携実践塾を活用し民間企業への聞き取りなどを実施したほか、高尾山古墳などの発掘調査による出土品の展示や勾玉造り、弓矢体験ができるイベントを実施するなど、文化芸術の拠点としての利活用に取り組んでいる。今後は、これまで以上に市民と連携し、多様な文化芸術活動に親しみ、鑑賞したり、体験したりする機会を創出し、文化の殿堂である市民文化センターを拠点とした文化芸術のまちづくりを市内全域で推進していく。

渡邊 博夫



子宮頸がん予防のためのHPVワクチン接種の取組は

問 子宮頸がん予防の取組について、①HPVワクチンのキャッチアップ接種の状況と高校一年生の接種状況は。②接種率向上に向けた取組は。

答 市民福祉部長／①本市では、積極的接種勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人に対し、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うキャッチアップ接種を実施している。キャッチアップ接種の接種状況は、対象者五千九百一人に対し、令和六年十月末現在で三回接種が完了した人は七百十人で、接種率は十二・〇％である。また、高校一年生の接種

状況は、対象者七百八十一人に対し、令和六年十月末現在で三回接種が完了した人は百二十三人で、接種率は十五・七％である。

②本市は、定期接種及びキャッチアップ接種の接種券を送付する際、ワクチンの安全性・有効性を記載したリーフレット等を同封しているほか、市ホームページなどで併せて周知している。今後は、さらなる接種率向上に向けて、未接種者に対しワクチン接種の意義や子宮頸がん予防の重要性をまとめた接種勧奨の個別通知の発送を検討していく。

長田 吉信



沼津市中心市街地まちづくり戦略の取組状況は

問 沼津市中心市街地まちづくり戦略の取組状況は。

答 市長／中心市街地まちづくり戦略では、沼津駅周辺総合整備事業の本格展開を好機と捉え、駅周辺をヒト中心の魅力ある場所へと再生するため、四つの戦略により、まちづくりを進めている。「ヒト中心の公共空間の創出」では、まちなかの公共空間を活用し、歩きたくなる、過ごしたくなるまちなかをつくり出す取組として、令和四年度からOPEN NUMANUを毎年開催している。「拠点機能の立地促進」では、鉄道

高架事業により新たに生まれる土地や高架下の有効活用について、地元住民や有識者など幅広い人の意見を踏まえ、検討を進めている。「まちなか居住の促進と市街地環境の向上」では、民間事業者による再開発事業が活発化しているほか、空き家等を活用したリノベーションまちづくりを推進している。「周辺地域資源との連携」では、歩道整備等により、地域資源の回遊性向上を図っている。以上のように、官民連携による様々な施策の展開により、着実に中心市街地のまちづくりを進めている。

井原 三千雄



避難所ともなる学校体育館へ空調設備を設置する考えは

問 避難所ともなる学校体育館への空調設備の設置についての考えは。

答 教育長／近年の猛暑への対応として、学校施設の環境の改善及び避難所の適切な環境整備は効果的であると認識している。しかし、体育館への空調設備の設置をはじめ、学校施設の整備については、多額の事業費がかかることから、財源確保のため、文部科学省の補助金や国の国土強靱化への取組を注視しつつ、国や県に対して積極的に要望活動を実施していく。

問 香貫山の魅力を十分に発揮するためには、森林整備が必要だと考えるが、今後の香貫山整備の取組は。

答 産業振興部長／ハイキングコースなど、多くの人が利用する場所は、危険木の伐採や草刈りなどにより、安全性・快適性に配慮した管理を行い、それ以外の場所については、今の植生を生かし、必要な管理を継続していく。また、桜については、てんぐ栗病被害木の駆除等、これまで植栽された桜や自生の桜を生かしながら、多彩な植生で様々な動植物が生息する森林づくりに取り組んでいく。

尾藤 正弘



本市の排水機場における地元操作員への対応は

問 大雨時の排水機場の地元操作員と連絡が取れない場合等の対策は。

答 建設部長／気象庁による早期注意報が発表された時点で操作員へ事前連絡を行っており、連絡が取れない場合は、市職員が現場で対応している。また、現在排水機場の自動運転化について調査を進めており、更新と併せて改修するなど、操作員の負担を減らす効果的な方法を検討している。

問 女性のデジタルスキルの向上とデジタル分野への就労支援を図る、女性デジタル人材育成プログラムの取組状況と今後の取組は。

答 産業振興部長／国家資格であるITパスポートの資格取得を目的とした講座や、職場で求められるスキルの実践的な講座を、オンラインや複数の時間帯で開催するなど受講者個々の事情を考慮し実施しているほか、キャリアデザイン相談センターの専門の相談員による伴走支援を実施している。今後も、女性が抱える個々の事情に応じた柔軟な働き方や、能力に応じた活躍ができるよう、県や商工会議所等と連携し、女性のデジタル人材の育成に努めていく。

小泉 宣子



建設発生土の有効利用に対する本市の認識は

問 本市発注の建設工事に係る建設発生土を有効利用するためには、建設関連団体等との協力体制の構築が必要と考えるが、本市の認識は。

答 建設部長／建設発生土の処理等については、新たな民間処分場の確保が年々厳しい状況になっている。本市では、令和六年九月から、近隣市とストックヤード整備に関する勉強会を開始したところであるが、今後は、県の手引等を参考に、周辺市町や建設関連団体などと連携し、実情に即した効果的な建設発生土の有効利用を検討していく。

問 スマート農業の推進に向けた山間部における通信環境の整備に対する課題と今後の取組は。

答 産業振興部長／山間部における通信環境整備には、事業効果の発現等を勘案した上での事業実施の妥当性の検討が必要であり、通信施設を設置する土地の確保、複数の通信事業者との調整等の課題がある。今後は農業者等から意見を伺い、農作業上の課題や必要とされる整備内容を確認するとともに、JA等と連携し、国・県の事業メニュー及び他自治体先進事例の調査研究を進めていく。

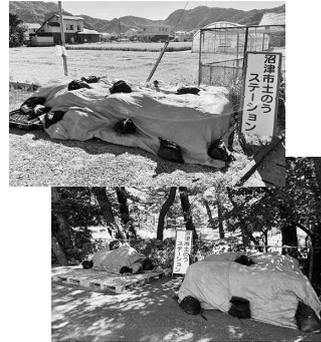
大川 敬太郎



土のうの利用促進に向けた取組は

問 土のうの利用を促進することは、市民の財産を守り、減災に大きく寄与すると考えるが、①土のうの利用効果は。②使い方の紹介など、周知・啓発に向けた取組は。

答 建設部長／①大雨などによる道路冠水があった場合において、土のうを道路に面した門柱の間や家の周りに積むことで、一定程度の住居への浸水を防ぐ効果が期待できる。②市ホームページ等を活用した広報活動のほか、地域の防災研修会などで土のうの作り方や、積み方、配置の仕方を説明し、利用の促進を図ってきた。



▲大平(上)、我入道(下)に設置されている土のうステーション

きた。今後は、梅雨や台風シーズン前に広報めまづや様々なSNSによる情報発信を行うとともに、防災マップ上に土のうステーションの場所などの情報を掲載し、市民への周知を図っていく。

村木 豊



投票所を商業施設等へ設置する考えは

問 商業施設等への投票所設置について、①課題に対する認識は。②今後の取組は。③市長部局が支援する考えは。

答 選挙管理委員会委員長職務代理者／①既に民間の商業施設で期日前投票を実施している他市の事例においては、専用回線を使用するネットワークを新たに構築し、選挙時のみ利用することで、セキュリティの確保を図っている。このことから、利用する回線、期日前投票期間中及び期間外の管理方法などのセキュリティ対策等について検討が必要で

あるほか、商業施設等において、ネットワーク環境の構築や、期日前投票期間中の継続的な占用の許可が得られるかなども課題であると認識している。②今後は、投票所の設置が可能な商業施設等の検討や商業施設等からの聞き取り、市との協議などを行い、期日前投票所の再編を含め、検討していく。

市長／③投票率の向上は市政にとっても重要であることから、ネットワーク構築やセキュリティ対策等に関し、技術的支援の要請があった際には、必要な支援を行っていく。

深田 昇



災害時の迅速避難を可能とするための近隣市町との連携の取組は

問 災害時の迅速避難を可能とするための近隣市町との連携の取組は。

答 危機管理監／本市は隣接する富士市や三島市、清水町など七市町と相互応援に関する協定を締結しており、これにより被災者の一時受入施設の提供を要請することができる。近年、自然災害は激甚化しており、令和六年六月の大雨時には、本市の住民が近隣市町に避難する事例が発生した。今後も市域を超えた避難が発生する可能性があることから、迅速に情報共有ができるよう、近隣市町との連携強化を図っていく。

問 障害者雇用促進法改正の趣旨及び内容の周知に対する取組は。

答 産業振興部長／本市では、障がい者就労に係る配慮すべき事項等について市ホームページで周知するとともに、事業者に対する労働環境改善などの意識啓発セミナー等を実施している。今後も静岡労働局等の関係機関と連携し、障がい者雇用に対する理解と着実な実施を市内事業者に促すことで、障がい者雇用率の達成や障がい者への差別禁止と合理的配慮の提供義務等の周知や支援に努めていく。

大草 満



学校給食費無償化の考えは

- 問** 学校給食費の無償化についての考えは。
- 答** **教育次長**／学校給食に要する費用については、学校給食法において調理施設や設備及び運営に係る経費は学校設置者の負担とし、食材費などのその他の経費については、受益者である保護者の負担とするものと定められている。そのため、学校給食費の無償化に向けては、まずは国が法令等を整備すべきものと考えている。
- 問** 学校給食費の滞納状況は。
- 答** **教育次長**／令和三年度の公会計



▲栄養士監修の安全・安心でおいしい給食

化以降の学校給食費の収納率は、令和三年度が九十九・二％、令和四年度が九十九・三％、令和五年度が九十九・一％となっている。また、令和五年度末時点での学校給食費の未納額は千二百三十九万四千四百四十二円で、未納者数は三百三十三名となっている。

川口 慶



本市の耐震化促進の状況は

- 問** 沼津市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2024の進捗状況に対する認識は。
- 答** **都市計画部長**／能登半島地震等を受け耐震化の機運が高まり、令和六年度については目標値を超える件数の実施が見込まれている。
- 問** 沼津市建築物等耐震化促進事業の取組実績に対する認識は。
- 答** **都市計画部長**／本市では、沼津市耐震改修促進計画に基づき、県と連携し、取組を進めているが、これまでの補助実績や建設リサイクル法による建築物解体の届出状況から推

測すると、令和七年度末までに目標である耐震化率九十五％の達成は厳しいと認識している。

問 沼津市耐震改修促進計画の令和七年度末目標である耐震化率九十五％必達に向けた取組強化策は。

答 **市長**／耐震化の積極的な取組を進めるため、来年度も国や県の補助金等を含めた十分な予算を確保するよう努めていく。また、耐震化を促進する上で市民協働による取組も有効であることから、防災指導員を通じて、地域の自主防災組織との連携を図るなどの取組を検討していく。

渡部 一二実



沼津夜間救急医療センターで発生した使途不明金の賠償は

- 問** 沼津夜間救急医療センターで使途不明金が発生した事件について、市として損害賠償を請求する考えは。
- 答** **市民福祉部長**／まずはセンターの指定管理者である沼津夜間救急医療対策協会が、刑事告訴をした後、民事訴訟で元職員に対し損害賠償請求をすべきであると考えている。対策協会が被害額を回収した際には、その回収金は市に返還されるべきものだが、市としては、回収金が被害額に満たない場合には、刑事手続の状況などを見極め、業務を委託している三市三町での協議を経た上で、

必要な措置を講じていく。

問 小中学校における太陽光発電設備の改修や更新を行う考えは。

答 **教育次長**／小中学校に整備している太陽光発電設備の一部には、データ計測等のためのパソコンに不具合が見られるが、発電による経費節減効果は得られていることから、可能な限り発電を継続できるように努めていく。また、設備の更新については、校舎等の改築、長寿命化改修時に対応していくことを基本とし、民間活力の活用を含めた整備手法や費用対効果について検討していく。

山下 富美子



本市におけるマイナンバーカードの取扱いは

- 問** マイナンバーカードの電子証明書更新手続について、①令和七年度の更新見込数は。②市民に対する周知・広報の取組は。
- 答** **市民福祉部長**／①本市における令和七年度の見込数は、約二万三千件を想定している。②対象者には有効期限の三か月前を目途に、国の機関から通知が發送されるほか、本市においても、カード交付時における案内チラシの配布や口頭説明、ホームページへの掲載等により、引き続き丁寧な周知に努めていく。
- 問** 生活保護冬季加算特別基準の本

市における現状は。

答 **福祉事務所長**／本市は、国が定める基準に基づき、十一月から三月までの五か月間、生活扶助に上乗せして冬季加算を支給している。この冬季加算額を一・三倍までの範囲内で増額する特別基準については、傷病・傷害等のため外出が著しく困難であり、常時在宅せざるを得ない方、または乳児が世帯員にいる場合であって、通常の冬季加算額により難しいときに認定して差し支えないとされているが、本市において現在この基準を適用している世帯はない。

高橋 秀子



住居の確保が困難な人への支援に対する考えは

問 住居の確保が困難な人への支援として、募集をしても入居者が決まらない市営住宅を活用するべきであると考えますが、①活用の可能性は。②福祉部局と住宅部局の連携に対する考えは。

答 都市計画部長／①公営住宅法において、NPO法人等、生活困窮者一時生活支援事業等の事業者への提供については、事業主体である市が必要と認めた場合、国土交通大臣の承認を得た上で公営住宅の管理に著しい支障のない範囲内で、社会福祉事業等に使用させることができる。

このため、福祉部局等と緊密な連携を図り、生活困窮者一時支援事業の必要性や管理運営方法等の検討内容により判断していく。

福祉事務所長／②本市では、市及び県の住宅部局や居住支援団体を含む関係機関により構成される沼津市生活困窮者自立支援ネットワーク会議において、住宅確保要配慮者を含む生活困窮者への支援について情報交換を行っている。今後も引き続き、国や他の自治体の動向を注視しつつ、福祉部局と住宅部局が連携し、支援の在り方を検討していく。

平野 謙



投票所入場券未達問題に対する認識と再発防止策は

問 令和六年十月二十七日執行の衆議院議員総選挙において、投票所入場券が一部地域で未達となったことについて、①当該事案の重大性に対する認識は。②今後の再発防止策は。

答 選挙管理委員会委員長職務代理者／①選挙は民主主義の根幹をなすものであり、今回、市民の重要な権利行使の機会において、多大な迷惑をかけてしまったことを反省している。選挙管理委員会は、投票率向上のため、あらゆる機会を捉えて選挙啓発に取り組むことが求められている中、最大の選挙啓発とも言える投票所入場券を届けられなかったこと

については、選挙管理委員会の責務を果たすことができなかったと責任を感じている。②今後の投票所入場券の作成・発送作業においては、作成すべき通数、作成数、発送数の管理・監督をさらに厳格に行うとともに、複数の職員で作業工程や数字を互いにチェックできる体制とするほか、システム等の操作を誤ることのないよう細心の注意を払い、慎重に作業を行う。これらを徹底し、二度と同じミスを繰り返さないよう、事務を行っていく。

江本 浩二



用語解説



※1 沼津市芸術祭 (P.4)

市民による自主的な芸術・文化の振興、日頃の活動成果を披露する市民芸術の祭典として昭和49年度に開始され、これまでに51回開催されている。

令和6年度は、沼津の秋を彩るステージ、展示など、全18部門による芸術文化の発表が実施された。

※2 プロセスマネジメント (P.4)

結果に至るまでの業務プロセスを分析・管理し、成果の最大化を目指すマネジメント手法のこと。

プロセスを明確化することにより、各工程における問題点を迅速に特定し、目標達成に向けた改善が可能となる。

※3 HPVワクチン (P.5)

子宮頸がんの原因のうち50～70%を占める2種類(16型・18型)のヒトパピローマウイルス(HPV)の感染に対し予防効果のあるワクチンのこと。



※4 土のうステーション (P.6)

台風や突発的な大雨に備え、浸水被害から自宅を守るため、必要に応じて土のうを使用できるように設置された土のう置場のこと。

※5 スマート農業 (P.6)

ドローンやAIなどの情報通信技術等を活用した農業のこと。これにより、農作業の効率化、農作業における身体の負担の軽減、農業の経営管理の合理化による生産性の向上などの効果が期待される。

若山選手へ沼津市議会特別表彰を授与しました

パリ 2024 パラリンピックの車いすラグビーにおいて、本市出身の若山英史選手わかやまひでふみが日本代表チームの一員として活躍し、金メダルを獲得されたことから、令和6年11月12日に高橋議長から同選手に「沼津市議会特別表彰」を授与いたしました。

「沼津市議会特別表彰」の授与は、平成4年以来、32年ぶりとなります。



▲若山選手に沼津市議会特別表彰を授与する高橋議長



▲沼津市議会特別表彰のトロフィー

ようこそ議場見学へ！

高校生が議場を見学しました！



▲議場で説明を聞く高校生たち

12月5日に沼津中央高校の3年生13人が文教産業委員会を傍聴し、その後議場を見学しました。

議場では、普段立ち入ることができない議員席で、市議会の仕組みや議員の仕事について説明を受け、その後、議会の役割等に関する様々な質問がありました。

また、傍聴した文教産業委員会において、小中学校の新校舎建設に関する疑問を聞き、「こんなに議論しているとは知らなかった。」などの感想がありました。

議会改革の取組について

議会改革の取組の一環として、以下の議員発議の議案2件を審議し、いずれも可決しました。

発議第14号 沼津市議会ハラスメント防止条例の制定

議員と職員との間におけるハラスメントの防止に関し必要な措置を講じることによりハラスメントを未然に防止し、市民から信頼される市議会の実現を図るため、ハラスメント防止条例を制定しました。



発議第15号 沼津市議会委員会条例の一部改正 常任委員会の再編

予算決算委員会を除く4つの常任委員会を3つに再編します。

現在

総務委員会
文教産業委員会
民生病院委員会
建設水道委員会

令和7年6月定例会から

総務経済委員会
民生病院教育委員会
建設水道危機管理委員会



行政視察報告

議会運営委員会



▲委員会のインターネット中継に係る取組を視察（一宮市）

令和6年8月7日～9日

長野県長野市、岐阜県中津川市、愛知県一宮市
「議会運営・議会改革の取組」

長野市では、健全な議会活動の確保を目的に制定された、長野市議会におけるハラスメントの防止等に関する要綱について用語の定義などを学びました。

中津川市では、様々な議会改革を協議するために議会改革特別委員会が設置されており、同特別委員会での議論を経て実施した委員会のインターネット中継の取組などを学びました。

一宮市では、市民に分かりやすい議会に取り組んでおり、その一環として平成30年から導入している委員会のインターネット中継について運用方法などを学びました。

このような先進的な事例を参考に、本市議会においても開かれた議会を目指し、今後も議会改革に取り組んでまいります。

令和6年11月6日～8日

愛知県豊橋市、兵庫県神戸市 「防災・減災の取組」

岡山県岡山市 「電子町内会の取組」

総務委員会では、今年の特典調査事項のテーマを「災害情報の収集・発信と防災意識啓発の取組等について」と定め、先進事例等の調査研究を進めております。

豊橋市では、ドローンやAI等のデジタル技術を活用した災害情報の収集・発信や市民に対する防災意識啓発の取組などを、神戸市では、危機管理システムによる災害対応や避難所の環境・資機材の充実の取組などを、それぞれ学びました。

また、岡山市では、インターネット等を活用した電子町内会の導入と、それによる町内会活動の活性化や地域住民のコミュニケーションの促進の取組などを学びました。

各市で学んだ取組を参考に特定調査事項の研究を進め、よりよい市政へ向けた提言につなげてまいります。

総務委員会



▲防災・減災の取組を視察（豊橋市）

文教産業委員会



▲長崎市立長崎中学校における「主体性のある教育」について視察（長崎市）

令和6年10月30日～11月1日

長崎県長崎市 「長崎市立長崎中学校における「主体性のある教育」
「長崎市の教育」

山口県山口市 「「ちよるPay」を活用した地域経済の
活性化に向けた取組」「企業立地促進の取組」

滋賀県草津市 「草津市学校教育情報化推進計画 第2期計画」

長崎市では、単元内自由進度学習や起業体験学習など、長崎市立長崎中学校が取り組む主体性のある教育等について学びました。

山口市では、地域通貨を活用した地域経済の活性化に向けた取組や新たな雇用・産業活力を創出する企業誘致について学びました。

草津市では、1人1台端末を文房具として活用するとともに、教師はまとめ役となり、「主体的・対話的で深い学び」「公正に個別最適化された学び」の実現を目指すNew草津型アクティブ・ラーニングと呼ばれるICTを積極的に活用した教育について学びました。

民生病院委員会



▲重層的支援整備体制における多機関協働の取組を視察（野洲市）

令和6年11月6日～8日

静岡県御前崎市 「サーキュラー・エコノミーの最前線」

滋賀県野洲市 「重層的支援整備体制における多機関との協働や居場所づくり」

三重県名張市 「子どもの権利を守るための重層的な取組」

御前崎市では、最新の硬質プラスチックのリサイクル事例を学びました。野洲市では、本市も今後取り組むべき福祉分野における重層的支援体制の先行事例としての効果的な取組や課題などを学びました。

名張市では、子どもの権利について学び直し、子どもをいかにして守るか、子どもの意見や考えをいかにして聞いていくかを学びました。

各市で学んだ様々な取組事例を参考に、市政への提言につなげてまいります。

令和6年11月6日～8日

岐阜県岐阜市 「衛星画像解析技術を用いた漏水リスク評価システムの導入」

愛知県田原市 「AIを活用した道路点検システム」

静岡県湖西市 「水道スマートメーターを活用した取組」

岐阜市では、衛星画像を解析し、漏水の可能性が高い管路を抽出することで、漏水調査業務を効率化するシステムについて学びました。

田原市では、ドライブレコーダーの映像をAIが解析し、自動的に道路の損傷状況を判定するシステムについて学びました。

湖西市では、水道スマートメーターの導入効果や、スマートメーターのデータを活用した時間帯別料金体系の実証実験について学びました。

各市で学んだ様々な取組事例を参考に、市政への提言につなげてまいります。

建設水道委員会



▲衛星画像解析技術を用いた漏水リスク評価システムの取組を視察（岐阜市）

沼津駅鉄道高架とまちづくり特別委員会



▲現在、工事を行っている春日部駅を視察（春日部市）

令和6年10月24日～25日

埼玉県春日部市 「春日部駅付近連続立体交差事業」

宮城県仙台市 「まちなかウォーカブル推進事業」

春日部市では、春日部駅付近連続立体交差事業や、連立事業と一体となったまちづくりの取組などを学びました。また、春日部駅では、事業の内容について説明を受けながら現在工事を行っているホームや構内を視察しました。

仙台市では、居心地がよく巡り歩きたくなるウォーカブルなまちづくりについて学びました。また、まちなかウォーカブル区域の一つである定禅寺通では、実際に現地を歩きながら説明や質疑を行い、当エリアにおけるまちづくりの取組について視察しました。

このような先進的事例を参考に、今後も鉄道高架を中心とした魅力あるまちづくりに向けて調査研究してまいります。



二十歳の議会参加者
(第三地区)

はら ももか
原 桃香さん

わたしたちの ゆめ たから



二十歳の議会参加者
(第五地区)

あらい ともはる
新井 智晴さん

私は二十年という歳月をここ沼津で過ごしてきました。そんな日々の中、豊かな自然と温かい人たちで溢れるこの街が大好きだなと常々感じます。毎日電車で沼津駅に帰ってくるどこかほっとするような気持ちを味わいます。それは、ここには私を支えてくれる家族、一生の友人、そしてこれまで関わって下さった沢山の方々との繋がりと思いがあがるからです。どんなときも私の居場所となってくれるこの素敵な故郷に感謝し、これからは自分自身の働きで少しずつ恩返しできたらと心から思います。

私の居場所

私は現在、大学で光に関係したモノづくりを学んでいます。大学での勉強を通して周りにありふれたモノがどれだけ多くの技術や知恵、工夫によって作られているかをより深く理解するようになりました。実際振り返ってみれば、自分が二十歳という節目の時を迎えられたのも他の人からの支えというのはいは大きいですが、それと同じくらい身の回りのモノが助けてくれた面も大きいと思います。このように、ものづくりや研究を通して社会に貢献できる人間になれるよう努力していきます。

モノづくり

沼津の未来を担う二十歳が市政を問う

令和7年1月12日に、二十歳を迎えた若者の代表が議員役を務める二十歳の議会が、市議会本会議場で開催されました。

今年は19人が参加し、代表して3人が市政に関する質問を行い、「市民スポーツの推進」、「沼津市のUターン就業支援」、「学校と地域の繋がり」について、市長及び教育長が答弁しました。

また、参加者それぞれが、「沼津で過ごした私たちが考える沼津の宝」をテーマに、沼津への思いを語りました。



【二十歳の議会に関するお問い合わせ】
生涯学習課 ☎ 055-934-4871

当日の動画を
YouTube で配信中！



議会だより次回発行予定 令和7年5月15日



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています

議会だより編集委員会

委員長 片岡 章一
副委員長 堤 飛鳥

委員 高橋 秀子
委員 佐野 博一

委員 大草 満
委員 山下富美子

委員 小泉 宣子